

キリスト教保育について

牧師・愛児舎園長 野町真理

1、キリスト教保育とは

キリスト教保育とは

子どもが、

神によって創造された存在として、神の恵みのもとで育てられ、
イエス・キリストを通して示される神の愛に気づかされ、
今の時を、喜びをもって生きる者とされ、
そのことによって生涯にわたる生き方の基礎を培い、
共に生きる平和な社会と世界をつくる自律的な人間として育つために、
保育者（両親と保育士）が、
イエス・キリストとの交わりに支えられて共に行う
意図的、継続的、反省的な努力であり、働きである。

2、キリスト教保育の目標（保育のねがい）

1. 子どもが、自分自身を大切な存在として受け入れられていることを感じとり、自分自身を喜びと感謝をもって受け入れることができるようになる。（イザヤ43：4）
2. 子どもが、イエスを身近な存在として知ることを通して、見えない神の恵みと導きへの信頼感を与えられ、イエスと共に、日々を歩もうとする思いを与えられる。（イザヤ43：1-3）
3. 子どもが、自分と他の違いを認めるとともに、違いを認めつつ一緒に生活するための努力ができるようになる。（Iコリント12：27）
4. 子どもが、こころを動かし、探求し、判断し、想像力をもち、創造的にさまざまな事柄に関わるようになる。（マタイ7：12）
5. 子どもが、私たちの生きる自然や世界を神の恵みとして受けとめ、自然や世界の事柄に関心を持ち、自分たちのできることを考え、行うようになる。（詩篇19：1、イザヤ40：26、エレミヤ29：11）
6. 子どもが、してはいけないことをしようとする思いが自分のなかにあることに気づき、そのような思いに抵抗することができるようになる。（Iサムエル2：9、ヨハネ8：12）

キリスト教保育連盟発行 「改訂 キリスト教保育指針」参照

